

# 社会福祉法人天竜厚生会 実践発表会

社会福祉法人 天竜厚生会

〒431-3492 静岡県浜松市天竜区渡ヶ島 217-3

## 助成事業の概要

【目的】 ご利用いただいている当事者、その家族や関係者や地域で暮らしている住民に対し、当会の幅広い事業を紹介することで、障がいがある方も、高齢者も、健常者も皆同じ住み慣れた地域で暮らし続けていける社会づくりの推進を目指し、毎年実施している。

【時期】令和4年3月31日より当会ホームページ、YouTubeにて公開を開始した。

【内容】天竜厚生会の実施している事業を「障がい」「高齢」「子育て」「医療」「就労」「スタッフ部門」の6分野に分け、各事業所で活躍する職員から、自事業所の紹介とともに、現在世界が取り組むSDGs(持続可能な開発目標)に関係する取り組みを紹介した。

## 事業の成果

【障がい分野】浜松市から委託されている精神相談支援事業所ほくえんと障害者支援施設浜名の紹介を行った。地域で精神障害を抱えて暮らしている方への支援や、新型コロナウイルスにより地域と分断されてしまった施設ご利用者への余暇の工夫を紹介した。

【高齢分野】特別養護老人ホームさやの家、天竜厚生会城北の家、百々山の紹介を行った。近隣認定こども園との連携、「ふじのくに型福祉サービス」というショートステイへの障害者の受け入れ状況、多様な職員の雇用や研修による職員のステップアップ状況を通じて介護保険施設が実施す

る多様なサービスを紹介した。

【子育て】幼保連携型認定こども園子育てセンターとみがおか、公私連携型保育所すずかけっこ保育園の紹介を行った。事業所の行っている食育やパラバルーンを通して将来、地域で活躍しうる子供たちの健全な成長を促す様子を紹介した。

【就労】多機能型事業所天竜ワークキャンパス、就労継続支援 A 型事業所天竜福祉工場の紹介を行った。地域で暮らす「障がい者」=福祉サービスを受ける方だけでなく、逆にサービスを提供することができる、社会とのつながりを持つことができるという働く障がい者の現状を紹介した。

【医療】有床診療所天竜厚生会診療所の紹介を行った。昨今特に話題となる新型コロナウイルスへの対策の実際と、生活貧困層に対する医療の提供の実際を紹介した。

【スタッフ部門】地域福祉課、監査指導課の紹介を行った。地域で暮らす生活困窮者への直接的な支援の実際や、法人として虐待に対する取り組みの実際を紹介した。

以上6分野13事業所に渡る当会の幅広い福祉、医療サービスが創設からどのように広がっていったのか、またSDGsのように当会の事業もこれからもずっと続いていき、地域で困っている方の傍に寄り添って事業を展開していくことを伝えた。

## 成果の広報、公表

制作動画は主に「天竜厚生会ホームページ」、「YouTube」で公開し、広く一般の方へ視聴して

もらう機会を整えた。また、当会広報誌「機関誌あかまつ」へ掲載する予定であり、静岡県内外の1127団体の行政機関をはじめとして、学校関係、各種関係機関へ送付する手配も進めている。

さらに当課が実施している出張福祉教育にて、従来のように施設への立ち入りが困難となった現在、施設ご利用者の様子や職員の関わりなどを伝えるツールとして活用している。また学生や就活生に対しても動画をご視聴いただくことで福祉事業の多様さややりがいをご理解いただき、職業選択に福祉が含まれるよう活用を始めている。

## 今後の展開

社会問題として捉えられている少子高齢化、核家族化により地域住民同士の関わりが希薄化している現在、その住み慣れた地域ですこしでも長く暮らしていくためには当会の提供する福祉サービスだけでなく、地域住民同士の支え合いが非常に重要になっている。いまだに「福祉」＝「特別なもの」「自分にはまだ関係のないもの」として他人事で考えられてしまうことがある。地域共生社会を実現するためにも地域で暮らしている方に対して、少しでも「福祉」とは特別なことではなく、身近なもので、自分自身も関係しているものであるという考えを広めていきたい。当会の実施している小中学生を中心に実施している福祉教育の場でも作成した動画を用いて法人や取り組みを紹介し、将来職業としての福祉をイメージできるよう啓発を続けていきたい。